

講義名称	新島襄	担当教員名	山本 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	HUM111

授業のキーワード	新島襄・建学の精神・キリスト教主義教育
授業の概要	本学の建学の精神と深く関わる、牧師であり教育者である新島襄の生涯と思想、またその影響について学びます。新島の活動の背景となる時代についても講義と資料によって触れます。
期待される学習成果 (目標)	①新島襄の生涯と思想について、理解を深めることができます。②新島襄という歴史的存在と、「キリスト教主義教育」を掲げる本学の使命、またそこで学ぶ私たちとの間の関係性を見出すことができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、各課題、評価の方法などを説明します。
2	新島の生きた時代①	新島の活動の背景となる日本近代初期の様子について学びます (幕末編)
3	新島の生きた時代②	新島の活動の背景となる日本近代初期の様子について学びます (文明開化編)
4	誕生から脱国まで	新島の誕生から国禁を犯して脱国するまでの経緯を見ます。
5	アメリカ到着から牧師になるための学びへ	アメリカでの新島の学びと、明治政府の欧米視察団との出会いまでの経緯を見ます。
6	帰国から、学校設立へ	同志社英学校設立の経緯について学びます。
7	熊本バンド、来たる	熊本バンドについて、また教育者としての新島の姿勢が現れる「自責の杖」事件について学びます。
8	大学設立への道	新島の大学設立運動について学びます。
9	創立10周年の頃	新島の目指した「キリスト教主義大学」の現実について考えます。
10	新島を支えた人たち	宣教師たちと出資者たちについて紹介します。
11	新島の教え子たち	特に群馬ゆかりの柏木義円と、安中教会に関わる人たちについて学びます。
12	新島の死	教育者・牧師としての新島の生き様を考えます。
13	新島八重	新島のパートナーとして生きた女性の生涯について学びます。
14	私たちの学園と新島の遺産	新島の教育観、信仰、生き方が私たちに問いかける事柄について考察します。
15	学期の学びとまとめ	期末課題に取り組みます。

定 期 試 験	最終授業において課題を提示し、授業時間内に取り組みで提出していただきます。
授 業 時 間 外 学 習	教科書や参考文献等を積極的に読み進めることが望ましい。
評 価 方 法	①授業で提示する図書または映像作品についての感想文 30% ②期末課題 70%
使用する教科書 (必ず購入してください)	「新島襄への扉」編集委員会 編 「新島襄への扉」
参 考 文 献	学校法人同志社 編 「現代語で読む新島襄」 丸善 本井康博 「新島襄と建学の精神」 思文閣出版 同志社同窓会 編 「新島八重—ハンサムな女傑の生涯」 淡交社 2012